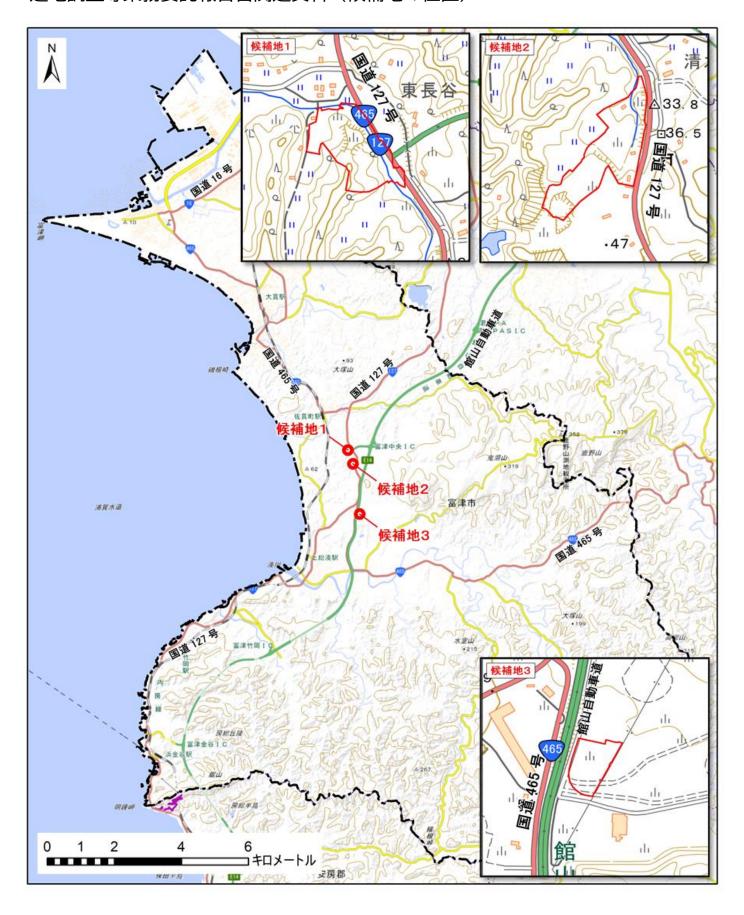
## 適地調査等業務委託報告書関連資料(候補地の位置)



			1		候補地1 		候補地 2 ————————————————————————————————————		候補地 3 ————————————————————————————————————
■】倭	保補地1 保補地2 候補地3 優位性の判断 (凡例)	東那山		A.	9 25 50 109 H		0 25 50 10 10 - 1,5		0 25 50 10
(>) :	各候補地で優位・劣位の判断ができない。評 各候補地で明らかな優劣がある。比較時の優値 該当データの不足等により評価できない。 ※		報本情	面積 場所 地形	3.48 ha 富津中央IC入口交差点西部 標高20~60m 程度/高低差40m以上の傾斜地	東	4.05 ha 富津中央IC入口交差点南部 から西にかけて標高30~50m /緩やかな傾斜地		1.46 ha 浅間山運動公園 標高50m 程度/概ね平
項目	内容	優位性の判断基準	比較	候補地	!1 約3.5ha	候補地	也 <b>2</b> 約4.1ha	候補地	b 3  約1.5ha
	①確保可能な一団の土地面積等 ⑥事業の進めやすさ	・面積が大きいほど優位		0		0	कप्र4.111d	0	MIC.1以本
	所有者	・所有者(権利者)数の有無	=	0	国道部分を国土交通省(一部、千葉県)が所 有し、道路に面する山林を民間企業一社が所	0	国道部は国土交通省が所有し、それ以外の大 部分は民間企業一社が所有している。	0	全域を民間企業一社が所有している。
用地	土地の取得に関する申請行為	・申請行為の有無	=	©	有している。 届け出の必要なし。	0	届け出の必要なし。	©	届け出の必要なし。
確	土地の形質・形状変更に伴う申請 行為	・申請行為の有無	=	Δ	開発許可の届出が必要である。	Δ	開発許可の届出が必要である。	Δ	開発許可の届出が必要である。
保	⑦拡張性	・隣接地が未利用なほど優位	>	0	隣接した土地利用はなし	0	隣接した土地利用はなし	Δ	隣接した土地利用がある
拡	⑨事業費 用地取得費	・費用が低いほど優位	>	0	46,034,684円	О Д	53,572,728円	0	19,245,676円
張	造成費	・費用が低いほど優位 はに係る工期や費用面を考慮し、導入機能や自動車	>	Δ	41,605円/㎡ 一団の土地(約3.5ha)の確保が可能であ	0	26,688円/㎡ 一団の土地(約4.1ha)の確保が可能であ	0	2562円/㎡ 用地取得や造成工事等に要するコストが
性	平 交通量 (必要な駐車場台数)を踏まえ一定程度の用地面積 (拡張性)を確認する必要がある。また、開発に向けた各種申請が必要であり、その進めやすさが、事業進捗や事業の拡張性に大きく影響する。そのため、候補地周辺の一団の土地の有無や土地の権利関係、開充に必要な手続き等を整理し、用地状況や整備・拡張性を比較・評価する。 ※重要視する項目		評価結果	0	り、隣接した土地利用がないため、拡張性が 見込める。一方、用地取得や造成工事等に時間とコストを要する。土地の取得や開発許可 の届け出は必要ない。	© 2	り、隣接した土地利用がないため、拡張性が 見込める。一方、用地取得に時間とコストを 要する。土地の取得や開発許可の届け出は必 要ない。	0	られる。一方、一団の土地(約1.5ha)に られており、周辺の土地利用があるため。 張性は低い。土地の取得や開発許可の届 は必要ない。
			点数		2 点		4 点		2 点
	②交通条件(管理者別道路現況)	・道路構造(信号交差点、前面道路形状 等)が適しているほど優位	>	Δ	国道127号(幅員12.4~26.25m)、信号交差 点改良が必要(右折レーンの設置など)	0	国道127 号(23.3~26.0m) 構造上の問題なし	Δ	市道浅間山線(幅員7.2~10.0m、道路改中)、国道127号出入口の交差点形状の3
道 の	③インフラ整備の可能性 用途別・地目別土地利用現況	・候補地の整備が容易なほど優位	>	0	約8割を「山林」が占めている。	Δ	約8割を「山林」が占めている。	Δ 0	約8割を「山林」が占めている。
駅	河川・水路の現況・計画	・河川・水路がないほど優位	>	Δ	北側に古船川	0	一部、「宅地」が存在し、建物が数棟立地 なし	0	敷地内水路(周辺に水路)
整備	上水道整備状況・計画 排水不良区域	・給水環境の整備が容易なほど優位 ・排水環境が良好なほど優位	>	0	整備済み(φ150、φ100) 排水不良区域なし	<u> </u>	なし 排水不良区域なし	Δ	なし 排水不良の可能性あり(低位地帯)
の	電気・ガス・通信施設の現況	・送電・ガス環境整備が容易なほど優位	>	Δ	周辺道路沿いに電柱が立地(一部候補地内)	Δ	周辺道路沿いに電柱が立地(一部候補地内)	0	周辺道路沿いに電柱が立地(候補地内な
進	⑥事業の進めやすさ			0				0	
めや	工事における課題	・工事課題の解決が見込めるほど優位	>	0	経路が狭く工事車両の経路確保が必要	^	経路が狭く拡幅整備や別経路の確保が必要	0	進入経路や作業場あり、車両進入に伴う
す	支障物件	・支障物件の撤去が容易なほど優位	>	0	看板	Δ 0	土嚢、複数の空き家	Θ	課題はみられない 鉄塔
すさ	道の駅の整備にあたり、候補地や の課題・支障物件等を考慮する必要	・支障物件の撤去が容易なほど優位 P周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等 をがある。そのため、接道条件などの道路構 は、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす 重みづけ×	評価結果	© 2	看板 給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。	0	土嚢、複数の空き家 河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。	0	課題はみられない
ð	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況できた比較・評価する。	・ 周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等 そがある。そのため、接道条件などの道路構 記、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす	評価結果	© 2	給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用につい	0	河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占め	0	課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不 可能性がある。土地利用については、約
合法	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  ④法的規制と規制への適合性山林・農地の現況	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等 をがある。そのため、接道条件などの道路構 は、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす 重みづけ× ・山林・農地の利用が少ないほど優位	評価結果 1 点数	© 2	給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  2 点 区域内に山林、候補地周辺には農地が存在	О О Д	河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不 可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1点 農地・山林は存在しない
合法	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4法的規制と規制への適合性山林・農地の現況都市計画法農地法	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等 をがある。そのため、接道条件などの道路構 は、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす 重みづけ× ・山林・農地の利用が少ないほど優位 ・都市計画法の規制有無 ・農地法の規制有無	評価結果 1 点数	© 2	給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  2 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外	0 0 0 0 0	河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外
合性	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4 法的規制と規制への適合性 山林・農地の現況 都市計画法 農地法 森林法 文化財保護法	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等 をある。そのため、接道条件などの道路構 は、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす 重みづけ× ・山林・農地の利用が少ないほど優位 ・都市計画法の規制有無 ・農地法の規制有無 ・森林法の規制有無 ・文化財保護法の規制有無	評価結果 1 点数	© 2	給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  2 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 地域森林計画対象民有林 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし	0 0	河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  「区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不 可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし
さ 合性 法的規制と規	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4法的規制と規制への適合性山林・農地の現況都市計画法農地法森林法文化財保護法国土利用計画法道の駅及び道の駅周辺開発では各評	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等 をがある。そのため、接道条件などの道路構 は、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす 重みづけ× ・山林・農地の利用が少ないほど優位 ・都市計画法の規制有無 ・農地法の規制有無 ・森林法の規制有無	評価結果 1 点数	© 2	給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  2 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 地域森林計画対象民有林 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。	0 0 0 0	河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不 可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外、農業振興地域外、 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制
さる性法的規制と規制へ	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  (4) 法的規制と規制への適合性 山林・農地の現況 都市計画法 農地法 森林法 文化財保護法 国土利用計画法 道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法 记、道の駅整備用地の適合性を比較	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等 をがある。そのため、接道条件などの道路構 は、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす 重みづけ× ・山林・農地の利用が少ないほど優位 ・都市計画法の規制有無 ・農地法の規制有無 ・産地法の規制有無 ・文化財保護法の規制有無 ・国土利用計画に基づく規制有無 ・国土利用計画に基づく規制有無 ・電法律の制約に基づいて整備検討が進められ を森林法等の観点から土地の規制状況を整理	評価結果 1 点数		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  2 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし 都市計画区域外である。候補地内に農地が存		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不 可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法
to 合性 法的規制と規制へ	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4法的規制と規制への適合性山林・農地の現況都市計画法農地法森林法文化財保護法国土利用計画法道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等 をがある。そのため、接道条件などの道路構 は、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす 重みづけ× ・山林・農地の利用が少ないほど優位 ・都市計画法の規制有無 ・農地法の規制有無 ・産地法の規制有無 ・文化財保護法の規制有無 ・国土利用計画に基づく規制有無 ・国土利用計画に基づく規制有無 ・電法律の制約に基づいて整備検討が進められ を森林法等の観点から土地の規制状況を整理	評価結果 1 点数 /=== 評価結果 1		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  2 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外農用地区域外、農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不 可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制 い。
to 合性 法的規制と規制へ	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  (4) 法的規制と規制への適合性 山林・農地の現況 都市計画法 農地法 森林法 文化財保護法 国土利用計画法 道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法 记、道の駅整備用地の適合性を比較	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等 をがある。そのため、接道条件などの道路構 は、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす 重みづけ× ・山林・農地の利用が少ないほど優位 ・都市計画法の規制有無 ・農地法の規制有無 ・産地法の規制有無 ・文化財保護法の規制有無 ・国土利用計画に基づく規制有無 ・国土利用計画に基づく規制有無 ・種法律の制約に基づいて整備検討が進められ は、森林法等の観点から土地の規制状況を整理 を、評価する。	評価結果 1 点 / = = = 評価結果		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  2 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1 点		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制は		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不 可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制
さ <mark>なった。                                    </mark>	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4 法的規制と規制への適合性山林・農地の現況都市計画法農地法森林法文化財保護法国土利用計画法	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等 をがある。そのため、接道条件などの道路構 は、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす 重みづけ× ・山林・農地の利用が少ないほど優位 ・都市計画法の規制有無 ・農地法の規制有無 ・産地法の規制有無 ・文化財保護法の規制有無 ・国土利用計画に基づく規制有無 ・国土利用計画に基づく規制有無 ・種法律の制約に基づいて整備検討が進められ は、森林法等の観点から土地の規制状況を整理 を、評価する。	評価結果 1 点数 /=== 評価結果 1		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  2 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外農用地区域外、農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不 可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制 い。
さい 会性 法的規制と規制への適	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  (4)法的規制と規制への適合性山林・農地の現況都市計画法農地法森林法文化財保護法国土利用計画法 調・道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法し、道の駅整備用地の適合性を比較点	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等 をがある。そのため、接道条件などの道路構 は、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす 重みづけ× ・山林・農地の利用が少ないほど優位 ・都市計画法の規制有無 ・農地法の規制有無 ・文化財保護法の規制有無 ・工化財保護法の規制有無 ・国土利用計画に基づく規制有無 ・国土利用計画に基づく規制有無 ・種法律の制約に基づいて整備検討が進められ は、森林法等の観点から土地の規制状況を整理 を、評価する。	1 点		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  2点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 地域森林計画対象民有林 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  周辺の一部が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定 東関東自動車道館山線、国道127号が指定		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  指定なし  国道127号が指定		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制 い。 2点 指定なし 国道465号が指定
さ <mark>なった。                                    </mark>	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4 法的規制と規制への適合性山林・農地の現況都市計画法農地法森林法文化財保護法国土利用計画法道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法し、道の駅整備用地の適合性を比較点	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等をがある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやすまかけ、  ・山林・農地の利用が少ないほど優位・都市計画法の規制有無・農地法の規制有無・森林法の規制有無・本体法の規制有無・工化財保護法の規制有無・国土利用計画に基づく規制有無・国土利用計画に基づく規制有無・種法律の制約に基づいて整備検討が進められ、森林法等の観点から土地の規制状況を整理を・評価する。  重みづけ ・各種災害ハザードの指定有無・避難所・避難場所が立地されているほど優位	1 点		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  国道127号が指定 候補地から約1.6kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1 点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制 い。 2 点 指定なし 国道465 号が指定 候補地から約200mに、地域交流支援セン ター「カナリエ」(福祉避難所)が立地
合生 会生 一会生 一会生 一会生 一会生 一会生 一会生 アルファイン アルファイン アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4 法的規制と規制への適合性山林・農地の現況都市計画法農地法森林法文化財保護法国土利用計画法道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法し、道の駅整備用地の適合性を比較点。  (8)防災上の安全性災害リスクの現況緊急搬送道路の確保避難所・避難場所の立地動向避難所・避難場所の中間環難所・避難場所の強能	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等をがある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやすまかけ、  ・山林・農地の利用が少ないほど優位・都市計画法の規制有無・農地法の規制有無・森林法の規制有無・本体法の規制有無・五十利用計画に基づく規制有無・国土利用計画に基づく規制有無・国土利用計画に基づく規制有無・運法の制約に基づいて整備検討が進められ、森林法等の観点から土地の規制状況を整理を・評価する。  ・野急搬送道路の指定有無・避難馬所・避難場所が立地されているほど優位・避難所・避難場所の機能有無	1 点		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  2点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 地域森林計画対象民有林 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  周辺の一部が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定 東関東自動車道館山線、国道127号が指定候補地から約1.2kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  国道127号が指定 候補地から約1.6kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地 佐貫小学校体育館に131人が収容		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1 点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制 い。 2 点 指定なし 国道465号が指定 候補地から約200mに、地域交流支援セン ター「カナリエ」(福祉避難所)が立地 地域交流センターカナリエに36人が収名
合生と、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、おり、	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  (4)法的規制と規制への適合性山林・農地の現況都市計画法農地法森林法文化財保護法国土利用計画法道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法し、道の駅整備用地の適合性を比較点	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等をがある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやすまかけ、  ・山林・農地の利用が少ないほど優位・都市計画法の規制有無・農地法の規制有無・森林法の規制有無・本体法の規制有無・工化財保護法の規制有無・国土利用計画に基づく規制有無・国土利用計画に基づく規制有無・種法律の制約に基づいて整備検討が進められ、森林法等の観点から土地の規制状況を整理を・評価する。  重みづけ ・各種災害ハザードの指定有無・避難所・避難場所が立地されているほど優位	1 点		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  国道127号が指定 候補地から約1.6kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1 点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制 い。 2 点 指定なし 国道465 号が指定 候補地から約200mに、地域交流支援セン ター「カナリエ」(福祉避難所)が立地
合性 災害リスク・環境影 法的規制と規制への適 災害リスク・環境影	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4 法的規制と規制への適合性 山林・農地の現況 都市計画法 農地法 森林法 文化財保護法 国土利用計画法 道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法 し、道の駅整備用地の適合性を比較点 と	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等をがある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやすまかって数値を関係しています。	1 点 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  国道127号が指定 候補地から約1.6kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地 佐貫小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(昼間:70dB, 夜間:64dB)周辺に住宅がない		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1 点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制 い。 2 点 指定なし 国道465号が指定 候補地から約200mに、地域交流支援センター「カナリエ」(福祉避難所)が立地 地域交流センターカナリエに36人が収容 データなし 周辺に住宅がない 土地が開けている 土地が開けている 土地が開けており、周辺に住宅がない。 た、各種ハザードの指定はなく、遊難所
合性 災害リスク・環境影響法的規制と規制への適 災害リスク・環境影響	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4 法的規制と規制への適合性 山林・農地の現況 都市計画法 農地法森林法文化財保護法 国土利用計画法 道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法 し、道の駅整備用地の適合性を比較点 超難所・避難場所の立地動向避難所・避難場所の機能 10環境への影響 騒音・振動等の現況 24時間利用施設の影響景観の現況 24時間利用施設の影響景観の現況 24時間利用施設の影響景観の現況 200災害リスクや環境への影響を比点 200災害リスクや環境への影響を比点 200災害リスクや環境への影響を比点 200災害リスクや環境への影響を比点 200災害リスクや環境への影響を比	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等とがある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやすまからないほど優位・都市計画法の規制有無・農地法の規制有無・産林法の規制有無・工化財保護法の規制有無・国土利用計画に基づく規制有無・国土利用計画に基づく規制有無・国土利用計画に基づく規制有無・国土利用計画に基づく規制有無・運動を対して整備検討が進められる、森林法等の観点から土地の規制状況を整理を・評価する。  重みづけ× ・各種災害ハザードの指定有無・避難所・避難場所が立地されているほど優位・避難所・避難場所が立地されているほど優位・避難所・避難場所の機能有無  騒音・振動等環境がよいほど優位 周辺に施設特性の影響が少ないほど優位 景観が良好なほど優位 景観が良好ないほど優位 素観が良好ないほど優位 の指定状況に留意する必要がある。また、開発して整備を進める必要があるため、候補地周、較・評価する。	1 点 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  ② 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  周辺の一部が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定東関東自動車道館山線、国道127号が指定候補地から約1.2kmに、佐賃小学校(指定避難所)が立地佐賃小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(昼間:70dB、夜間:64dB)周辺の住宅は数件程度後背地には里山周辺に住宅が数件存在し、騒音等による周辺影響がある。また、周辺の一部が土砂災害(特別)警戒区域に指定されており、指定避難所までの距離が遠い。緊急搬送経路は、国		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外農用地区域外、農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  国道127号が指定 候補地から約1.6kmに、佐賃小学校(指定避難所)が立地 佐賃小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(昼間:70dB、夜間:64dB)周辺に住宅がない、後背地には里山周辺に住宅がなく、後背地に山林がある。各種ハザードの指定はないが、最寄りの避難所まで距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不 可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。 1 点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制 い。 2 点 指定なし 国道465 号が指定 候補地から約200mに、地域交流支援セン ター「カナリエ」(福祉避難所)が立地 地域交流センターカナリエに36 人が収容 データなし 周辺に住宅がない 土地が開けている 土地が開けている 土地が開けており、周辺に住宅がない。 た、各種ハザードの指定はなく、避難所 い。緊急搬送経路は、国道465号が指定: ている。
合性 災害リスク・環境影響法的規制と規制への適 災害リスク・環境影響	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4 法的規制と規制への適合性 山林・農地の現況 都市計画法 農地法森林法文化財保護法 国土利用計画法 道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法 人、道の駅整備用地の適合性を比較点 超難所・避難場所の立地動向避難所・避難場所の機能 10環境への影響 騒音・振動等の現況 24時間利用施設の影響 景観の現況 24時間利用施設の影響 景観の現況 24時間利用施設の影響 景能の現況 25 時間利用施設の影響 景能の現況 26 時間利用施設の影響 景能の現況 27 時間利用施設の影響 景能の現況 28 時間 38	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等とがある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやすまかある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやすまかり、一直、本の規制有無・農地法の規制有無・東地法の規制有無・工工の規制有無・工工の規制有無・工工の規制を表現では、大変を表現である。また、関連が、大変を表現である。また、関連を表現である。また、対象を表現を表現を表現である。また。また、対象を表現である。また、対象を表現である。また、表現である。また、対象を表現である。また、対象を表現を表現である。また、表現である。また、表現である。また。また。また、表現である。また。また。また。また、表現である。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。	1 点 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  ② 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  周辺の一部が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定東関東自動車道館山線、国道127号が指定候補地から約1.2kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(昼間:70dB、夜間:64dB)周辺の住宅は数件程度後背地には里山周辺に住宅が数件存在し、騒音等による周辺影響がある。また、周辺の一部が土砂災害(特別)警戒区域に指定されており、指定避難所までの距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  ② 点  一般国道127号 7,640~12,541台		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  国道127号が指定 候補地から約1.6kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容 一般国道127号(昼間:70dB,夜間:64dB)周辺に住宅がない後背地には里山周辺に住宅がない、後背地には里山周辺に住宅がない、後寄りの避難所まで距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  1点  1点  1点		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。  1点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外 農用地区域外、農業振興地域外 対象外 指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制 い。  2点 指定なし 国道465号が指定 候補地から約200mに、地域交流支援センター「カナリエ」(福祉避難所)が立地 地域交流センターカナリエに36人が収容 データなし 周辺に住宅がない 土地が開けている 土地が開けている 土地が開けており、周辺に住宅がない。 た、各種ハザードの指定はなく、避難所 い。緊急搬送経路は、国道465号が指定: ている。  2点
合性 災害リスク・環境影響法的規制と規制への適 災害リスク・環境影響	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  (4)法的規制と規制への適合性山林・農地の現況都市計画法農地法森林法文化財保護法国土利用計画法 道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法し、道の駅整備用地の適合性を比較点 超級 表別 という	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等とがある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやすまかある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやすまかが、本本計画法の規制有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 点 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  ② 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  周辺の一部が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定東関東自動車道館山線、国道127号が指定候補地から約1.2kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(昼間:70dB、夜間:64dB)周辺の住宅は数件程度後背地には里山周辺に住宅が数件存在し、騒音等による周辺影響がある。また、周辺の一部が土砂災害(特別)警戒区域に指定されており、指定避難所までの距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  国道127号が指定 候補地から約1.6kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(原間:70dB,夜間:64dB)周辺に住宅がない後背地には里山周辺に住宅がなく、後背地に山林がある。各種ハザードの指定はないが、最寄りの避難所まで距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不 可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。
合性 災害リスク・環境影響法的規制と規制への適 災害リスク・環境影響	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  (4)法的規制と規制への適合性 山林・農地の現況 都市計画法農地法 森林法 文化財保護法 国土利用計画法 道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法し、道の駅整備用地の適合性を比較点 に対した。が変異がある。とのため、都市計画法や農振法と、道の駅整備用地の適合性を比較点を表別では、対した。  (8)防災上の安全性災害リスクの現況 緊急搬送道路の確保避難所・避難場所の機能 の環境への影響場所・避難場所の機能 の環境への影響を振動等の現況 24時間利用施設の影響景観の現況 24時間利用施設の影響景観の現況 24時間利用施設の影響景観の現況 20次番条件 主要道路の交通量主要道路との接続性	中周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等とがある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやすまかある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやすまかり、一直上利用計画に基づく規制有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1       点       1       点       1       点       1       点       1       1       2       2       3       4       4       5       6       7       8       9       1       1       2       2       3       4       5       6       7       8       9       1       1       1       2       2       4       5       6       7       8       9       9       1       1       1       2       2       3       4       4       5       6       7       8       8       9       9       9       1       1       1       1       1       1       1       1       1    <		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  ② 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  周辺の一部が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定東関東自動車道館山線、国道127号が指定候補地から約1.2kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(昼間:70dB、夜間:64dB)周辺の住宅は数件程度後背地には里山周辺に住宅が数件存在し、騒音等による周辺影響がある。また、周辺の一部が土砂災害(特別)警戒区域に指定されており、指定避難所までの距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  ② 点  一般国道127号 7,640~12,541台 国道127号 7,640~12,541台		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  国道127号が指定 候補地から約1.6kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容 一般国道127号(昼間:70dB,夜間:64dB)周辺に住宅がない後背地には里山周辺に住宅がない、後背地には里山周辺に住宅がない、後寄りの避難所まで距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、約を山林が占める。  1点 農地・山林は存在しない都市計画区域外、農業振興地域外、対象外、指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。農地法、森林法化財保護法、国土利用計画に基づく規制い。  2点 指定なし 国道465号が指定 候補地から約200mに、地域交流支援センター「カナリエ」(福祉避難所)が立地地域交流センターカナリエに36人が収容データなし周辺に住宅がない土地が開けている土地が開けている土地が開けている土地が開けている土地が開けている土地が開けている土地が開けている土地が開けている土地が開けている。た、各種ハザードの指定はなく、避難所い。緊急搬送経路は、国道465号が指定ている。  2点 一般国道465号 1,742台 国道465号から前面道路まで約100m 高速道路のバスストップが設置アンダーバスが存在(拡幅不可)かつ信
合生 災害リスク・環境影響 立地法的規制と規制への適 災害リスク・環境影響	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  (4) 法的規制と規制への適合性 山林・農地の現況 都市計画法 農地法 森林法 文化財保護法 国土利用計画法 道の駅及び道の駅周辺開発では各 る。そのため、都市計画法や農振法 し、道の駅整備用地の適合性を比較点 に、道の駅整備用地の適合性を比較点 が要難場所の立地動向選難所・避難場所の機能 の環境への影響 騒音・振動等の現況 24時間利用施設の影響 最初等の現況 24時間利用施設の影響 最別の現況 26時間利用施設の影響 最別の現況 27時間利用施設の影響 最別の現況 28時間利用施設の影響 最別の現況 29時間利用施設の影響 最別の現況 28時間利用施設の影響 表別の現況 28時間利用施設の影響を比 200後書リスクや環境への影響を比 200後書リスクや環境への影響を比 200後書リスクや環境への影響を比 200後書リスクや環境への影響を比 200後書リスクや環境への影響を比 200後書リスクや環境への影響を比 200後書リスクや環境への影響を比 200後書リスクや環境への影響を比 200後書リスクや環境への影響を比 200後書リスクを選集	周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等   おある。そのため、接道条件などの道路構   大支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす   重みづけ×   ・山林・農地の利用が少ないほど優位   ・都市計画法の規制有無   ・農地法の規制有無   ・東地法の規制有無   ・東地法の規制を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	1 点		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  ② 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外農用地区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  周辺の一部が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定東関東自動車道館山線、国道127号が指定候補地から約1.2kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(昼間:70dB,夜間:64dB)周辺の住宅は数件程度後背地には里山周辺に住宅が数件存在し、騒音等による周辺影響がある。また、周辺の一部が土砂災害では数件程度後背地には里山周辺に住宅が数件存在し、騒音等による周辺影響がある。また、周辺の一部が土砂災害(特別)警戒区域に指定されており、指定避難所までの距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  ① 点		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし 国道127号が指定候補地から約1.6kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容 一般国道127号(昼間:70dB,夜間:64dB)周辺に住宅がない、後背地には里山周辺に住宅がない、後背地には里山周辺に住宅がなく、後背地に山林がある。各種ハザードの指定はないが、最寄りの避難所まで距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点		課題はみられない 鉄塔  工事上の課題がなく、支障物件も少ない方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、終を山林が占める。  1点  農地・山林は存在しない都市計画区域外。農業振興地域外対象外指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。農地法、森林法化財保護法、国土利用計画に基づく規制い。  2点  指定なし  国道465号が指定候補地から約200mに、地域交流支援セター「カナリエ」(福祉避難所)が立地地域交流センターカナリエに36人が収容データなし周辺に住宅がない。 土地が開けている 土地が開けている 土地が開けている 土地が開けている。大、各種ハザードの指定はなく、避難所い。緊急搬送経路は、国道465号が指定ている。  2点  一般国道465号 1,742台 国道465号がら前面道路まで約100m高速道路のパスストップが設置アンダーパスが存在(拡幅不可)かつ信がない。渋滞リスクがある
合性 災害リスク・環境影響 立法的規制と規制への適	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4 法的規制と規制への適合性 山林・農地の現況 都市計画法 農地法 森林法 文化財保護法 国土利用計画法 道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法 人、道の駅整備用地の適合性を比較点 と、道の駅整備用地の適合性を比較 整難所・避難場所の立地動向 避難所・避難場所の機能 10環境への影響 騒音・振動等の現況 24時間利用施設の影響 最いの災害・振動等の現況 24時間利用施設の影響 最いの災害・振動等の現況 24時間利用施設の影響 最いの災害・大の位置や災害ハザード 発に際しては周辺環境の変化を考慮辺の災害リスクや環境への影響を比 な 2交通条件 主要道路との接続性 各種公共交通機関現況 渋滞リスク 10 その他必要となる事項 視認性 集客性の高い道の駅を目指すため 性・利便性、道路からの視認性が高	周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等をある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす   重みづけ ×   重みづけ ×   重みづけ ×   重みづけ ×   重みづけ ×   重表が表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	1 点		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  ② 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1 点  周辺の一部が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定東関東自動車道館山線、国道127号が指定候補地から約1.2kmに、佐賃小学校(指定避難所)が立地佐賃小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(昼間:70dB、夜間:64dB)周辺の住宅は数件程度後背地には里山周辺に住宅が数件存在し、騒音等による周辺影響がある。また、周辺の一部が土砂災害(特別)警戒区域に指定されており、指定避難所までの距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  ② 点  一般国道127号 7,640~12,541台 国道127号に接続バス停なし		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  国道127号が指定 候補地から約1.6kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容 一般国道127号(昼間:70dB,夜間:64dB)周辺に住宅がない後背地には里山周辺に住宅がない、後背地には里山周辺に住宅がない、後寄りの避難所まで距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、終を山林が占める。  1点 農地・山林は存在しない都市計画区域外、農業振興地域外対象外指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。農地法、森林浸化財保護法、国土利用計画に基づく規制い。  2点 指定なし 国道465号が指定候補地から約200mに、地域交流支援セター「カナリエ」(福祉避難所)が立地地域交流センターカナリエに36人が収まデータなし周辺に住宅がない土地が開けている土地が開けている土地が開けている土地が開けている土地が開けている。た、各種ハザードの指定はなく、避難所い。緊急搬送経路は、国道465号が指定ている。  2点 一般国道465号 1,742台国道465号が指定でいる。  2点 一般国道465号 1,742台 国道465号のバスストップが設置アンダーパスオティ(拡幅不可)かつ信がない。渋滞リスクがある 施設配置によっては前面道路から視認可問辺に高速道路のパスストップが設定さいるが、道路交通量は1,700台程度と少
合性 災害リスク・環境影響 立地動・法的規制と規制への適 災害リスク・環境影響	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4 法的規制と規制への適合性 山林・農地の現況 都市計画法 農地法 森林法 文化財保護法 国土利用計画法 道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法し、道の駅整備用地の適合性を比較点 以	周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等   おある。そのため、接道条件などの道路構   人文障物件の有無等、道の駅整備の進めやす   重みづけ×   ・山林・農地の利用が少ないほど優位   ・都市計画法の規制有無   ・森林法の規制有無   ・東地法の規制有無   ・文化財保護法の規制有無   ・工生利用計画に基づく規制有無   ・東本法等の観点から土地の規制状況を整理   ・評価する。   重みづけ×   ・各種災害ハザードの指定有無   ・避難所・避難場所が立地されているほど優位   ・遊難所・避難場所が立地されているほど優位   一週難所・避難場所が立地されているほど優位   一切に施設特性の影響が少ないほど優位   景観が良好なほど優位   景観が良好なほど優位   等の防災機能を求められており、適地選定のの指定状況に留意する必要がある。また、開発して整備を進める必要があるため、候補地周、検・評価する。   重みづけ×   ・直路交通量が多いほど優位   ・企業値を進める必要があるため、候補地周、検・評価する。   重みづけ×	1     点     / = = = = = = = = = = = = = = = = = = =		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  ② 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  周辺の一部が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定東関東自動車道館山線、国道127号が指定候補地から約1.2kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(昼間:70dB、夜間:64dB)周辺の住宅は数件程度後背地には里山周辺に住宅が数件存在し、騒音等による周辺影響がある。また、周辺の一部が土砂災害(特別)警戒区域に指定されており、指定避難所までの距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  ② 点  一般国道127号、7,640~12,541台国道127号に接続バス停なし リスクなし  富津中央に・前面道路から視認性が高い。また、道路交通量はピーク時1万2,000台程度と多		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  国道127号が指定候補地から約1.6kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容 一般国道127号(昼間:70dB,夜間:64dB)周辺に住宅がない後背地には里山周辺に住宅がない、後背地には里山周辺に住宅がなく、後背地に山林がある。各種ハザードの指定はないが、最寄りの避難所まで距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。  1点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外、農業振興地域外、 対象外、指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし、 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制い。  2点 指定なし 国道465号が指定 候補地から約200mに、地域交流支援センター「カナリエ」(福祉避難所)が立地 地域交流センターカナリエに36人が収容 データなし 周辺に住宅がない 土地が開けている 土地が開けている 土地が開けている 土地が開けている 土地が開けている。た、各種ハザードの指定はなく、避難所い。 緊急搬送経路は、国道465号が指定でいる。 た、各種ハザードの指定はなく、避難所い。緊急搬送経路は、国道465号が指定でいる。 た、各種ハザードの指定はなく、避難所い。緊急搬送経路は、国道465号が指定でいる。 た、発達ハザードの指定はなく、避難所い。緊急搬送経路は、国道465号が指定でいる。 た、発達ハザードの指定はなく、避難所い。 に、緊急搬送経路は、国道465号が指定でいる。 を発展が表現でいる。 を発展している。 2点 一般国道465号 1,742台 国道465号が方定さている。 を発展しているが、道路交通量は1,700台程度と少れるが、道路交通量は1,700台程度と少れるが、道路交通量は1,700台程度と少れるが、道路交通量は1,700台程度と少れるが、道路交通量は1,700台程度と少れるが、道路交通量は1,700台程度と少れるが、道路交通量は1,700台程度と少れるが、道路交通量は1,700台程度と少れるが、道路交通量は1,700台程度と少れるが、1000年間によっては前面道路から視路可能のでは、1000年間によっては前面道路から視路可能のでは、1000年間によっては前面道路から視路可能のでは、1000年間によっては前面道路から視路可能のでは、1000年間によっては前面道路から視路可能のでは、1000年間によっては前面道路から視路可能のでは、1000年間によっては前面道路から視路可能のでは、1000年間によっては前面道路から視路可能のでは、1000年間によっては前面道路から視路可能のでは、1000年間によっては前面道路がある。
合性 災害リスク・環境影響 立地動・法的規制と規制への適 災害リスク・環境影響	道の駅の整備にあたり、候補地やの課題・支障物件等を考慮する必要造、周辺のインフラ施設の配置状況さを比較・評価する。  4 法的規制と規制への適合性 山林・農地の現況 都市計画法 農地法 森林法 文化財保護法 国土利用計画法 道の駅及び道の駅周辺開発では各る。そのため、都市計画法や農振法 人、道の駅整備用地の適合性を比較点 と、道の駅整備用地の適合性を比較 整難所・避難場所の立地動向 避難所・避難場所の機能 10環境への影響 騒音・振動等の現況 24時間利用施設の影響 最いの災害・振動等の現況 24時間利用施設の影響 最いの災害・振動等の現況 24時間利用施設の影響 最いの災害・大の位置や災害ハザード 発に際しては周辺環境の変化を考慮辺の災害リスクや環境への影響を比 な 2交通条件 主要道路との接続性 各種公共交通機関現況 渋滞リスク 10 その他必要となる事項 視認性 集客性の高い道の駅を目指すため 性・利便性、道路からの視認性が高	周辺の道路・インフラ整備の可能性や工事等をある。そのため、接道条件などの道路構造、支障物件の有無等、道の駅整備の進めやす   重みづけ ×   重みづけ ×   重みづけ ×   重みづけ ×   重みづけ ×   重表が表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	1     点     / = = = = = = = = = = = = = = = = = = =		給水環境が整備され、かつ排水不良区域がなく、工事上の課題・支障物件も少ない。一方、前面道路の交差点改良や河川・水路、送電施設の工事が必要である。土地利用については、約8割を山林が占める。  ② 点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の大部分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  周辺の一部が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定東関東自動車道館山線、国道127号が指定候補地から約1.2kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(昼間:70dB、夜間:64dB)周辺の住宅は数件程度後背地には里山周辺に住宅が数件存在し、騒音等による周辺影響がある。また、周辺の一部が土砂災害(特別)警戒区域に指定されており、指定避難所までの距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  ② 点  一般国道127号 7,640~12,541台 国道127号で接続バス停なし リスクなし  富津中央IC・前面道路から視認性が高い。また、道路中央IC・前面道路がら視認性が高い。また、道路中央IC・前面道路がら視認性が高い。また、道路で、一方、周辺に公共交通施設はない。主要		河川・水路、排水不良区域がなく、道路構造上の課題はない。一方、工事に伴う経路確保、敷地内に点在した支障物件(複数の空き家)が課題である。土地利用については、一部宅地があるものの、約8割を山林が占める。  1点  区域内に山林、候補地周辺には農地が存在都市計画区域外、農業振興地域外、地域森林計画対象民有林指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし規制なし都市計画区域外である。候補地内に農地が存在するが、農用地区域外である。一方、候補地の半分が地域森林計画対象民有林である。文化財保護法、国土利用計画に基づく規制はない。  1点  指定なし  国道127号が指定 候補地から約1.6kmに、佐貫小学校(指定避難所)が立地佐貫小学校体育館に131人が収容  一般国道127号(厚間:70dB,夜間:64dB)周辺に住宅がない後背地には里山周辺に住宅がなく、後背地に山林がある。各種ハザードの指定はないが、最寄りの避難所まで距離が遠い。緊急搬送経路は、国道127号が指定されている。  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1点  1		課題はみられない 鉄塔 工事上の課題がなく、支障物件も少ない 方、前面道路の拡幅・交差点形状の変更 要である。また、低位地帯のため排水不可能性がある。土地利用については、約 を山林が占める。  1点 農地・山林は存在しない 都市計画区域外、農業振興地域外、 対象外、指定文化財なし、埋蔵文化財包蔵地なし、 規制なし 都市計画区域外である。農地法、森林法 化財保護法、国土利用計画に基づく規制い。  2点 指定なし 国道465号が指定 候補地から約200mに、地域交流支援センター「カナリエ」(福祉避難所)が立地 地域交流センターカナリエに36人が収容 データなし 周辺に住宅がない 土地が開けている 土地が開けている 土地が開けている 土地が開けている 土地が開けており、周辺に住宅がない。 た、各種ハザードの指定はなく、避難所い。 繁急搬送経路は、国道465号が指定さている。 た、各種ハザードの指定はなく、避難所い。緊急搬送経路は、国道465号が指定さている。